

# はばたき

大分大学教育学部

附属小学校便り

平成28年 5月27日

## 「NIEの目指すもの」

国語主任 安部真治

新聞を通して自分を見つめる時間。附属小学校では、週に1度新聞を使ったフリートークをしています。（\*1年生は未実施。）新聞記事を熱心に読む子ども、友だちの話に真剣に耳を傾ける子どもの姿が毎週見られています。

本校は8月4日、5日に開かれるNIE全国大会で公開発表をすることになっています。NIEとは学校などの教育現場で新聞を教材として活用し、子ども・生徒たちの学力とモノを考える力の向上を図るための活動のことを指します。

現代は情報過多と言われています。テレビ、インターネット、ラジオ、雑誌などメディアを挙げるときりがありません。今回、附属小学校では新聞というメディアに着目しました。新聞のよさは様々な情報が載っていること、情報を取捨選択できることなどがあります。テレビなどのメディアでは自分のペースで情報を取り入れることができません。一方、新聞は自分のペースで情報を取り入れることができます。そして、気になる記事があったら考え込むことができます。このよさに着目し、本校が昨年度から取り入れてきたフリートークの幅を広げるために、新聞を取り入れることにしました。

低学年では、子どもの生活に身近な記事を取り上げてフリートークをします。先日は、新聞記事に載っている母の日の作文を取り上げてフリートークをしました。教室でフリートークをする前に、子どもがお家でこの新聞記事を音読すると、泣いてしまうお家の方もいたそうです。実際のフリートークでは、これまで自分がお家の方にしてもらったことを思い思いの言葉で語っていました。

中学年では、低学年より少し幅を広げて、日本や地域の記事を取り上げるようにしています。5月の初旬に「11日ぶりの笑顔の再会」という熊本地震の記事を取り上げました。熊本の人々の気持ちを考えたり、自分ができることを考え

たりする子どもの発言から、子どもたちが震災のことを真剣に切実にとらえていることがわかりました。

高学年では、さらに幅を広げて、国際関係の記事を取り上げることもあります。先日は世界の災害という記事を取り上げました。フリートークをする中で、「熊本の震災は世界と比べても大きな災害だったこと。」に子どもは気づきました。新聞を読むことで、社会の出来事についてくわしく知り、自分の考えをもつことができます。そして、考えたことを交流することで、考えを深めたり、友だちのよさを知ることができます。熊本の震災についてフリートークをしていると、ある子どもは「みんなが自分ができることについて、たくさんアイデアを出していて、みんなの優しさがわかったよ。」と発言しました。新聞を通して、世の中のことを考えながらも、身近な友だちのよさを見つけている子どもの姿に感心させられました。

NIEの目指すもの、それは社会とつながり、友だちとつながる子どもを育むためにあります。そのためにも、これからも子どもと相談しながら、子どもにとって切実感のある記事を取り上げていきます。もちろん、記事の内容が子どもにとって適切かどうかは教員がしっかりとチェックしていきます。全国大会では、本校の2年生・4年生・5年生が新聞を使ったフリートークの公開をします。子どもたちの生き生きと話す姿をぜひ、全国の方々にも見ていただきたいです。

\*保護者の皆様へへのお願い。子どもたちが新聞記事をお家に持って帰ることもありますので、その時はいっしょに新聞記事を読んでいただければと思います。

### 《6月の主な行事》

1日(水) 四校園あいさつデー

3日(金) 教育実習B終了

6日(月) 6年 PTA発会式

7日(火) 5年 PTA発会式

8日(水) 4年 PTA発会式

9日(木) 3年 PTA発会式

13日(月) 2年 PTA発会式

15日(水) 四校園あいさつデー

23日(木) 3・5年香々地宿泊体験

24日(金) 3・5年香々地宿泊体験